

一般社団法人東京高専技術懇談会ニュース

2010年4月5月合併号

一般社団法人東京高専技術懇談会発行

東京高専本科及び専攻科入学式が挙行されました

4月5日(金)、東京高専の本科および専攻科の入学式が挙行されました。本科入学式は耐震改修が完了した第1体育館で午前中に行われました。210名の新1年生と3名の3年編入留学生在桜の花の満開のもと、栢田の門をくぐりました。来賓として本会の安藤副会長と岡村理事が参列されました。

古屋一仁新校長は技術開発に携わる素晴らしさをご自身の経験を交えてお話されました。

専攻科の入学式は第4棟自学自習室で午後開催されました。新入生は例年の2倍近い39名でした。これは、今後専攻科を拡充、充実していく方針の表れです。本会から大田会長と安藤副会長が参列されました。大田会長は来賓講話として、技術者の心構えを話されました。基礎を固めること、英語力を高めること等、ご自身の技術者・経営者としての長年の経験に基づいた含蓄のあるお話で新入生を激励されました。



専攻科新入生に講話をする大田会長

インターンシップの受け入れについて

東京高専の4年生と専攻科1年生は夏期休業中の企業インターンシップが義務付けられています。4年生は2~3週間、専攻科1年生は1ヶ月です。昨年は4年生と専攻科1年生の5人に1人に当たる約40人が会員企業でインターンシップを行いました。

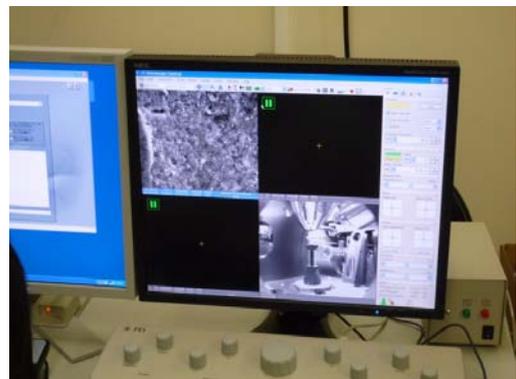
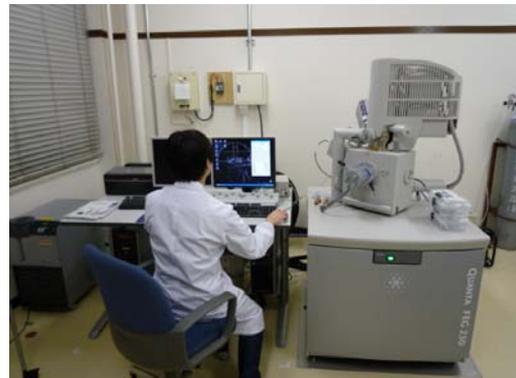
今年から東京高専教務係から全会員企業の皆様にインターンシップの受け入れの可否について書類をお送りすることになりました。インターンシップはキャリア教育としてその重要性、有効性が社会的に認知されています。日常の業務に加えて学生の指導まで行うことは大変とは思いますが、技術者養成の一環としてご協力をお願いいたします。インターンシップを経験した企業で就職する学生も増えています。

21年度専攻科特別研究発表会要旨集を同封します

2月6日に行われた専攻科2年生の特別研究発表会要旨集を同封します。特別研究の中には企業との共同研究も含まれています。今後東京高専との共同研究をお考えの際の参考にしていただくとともに、東京高専で行われている研究内容について知っていただく資料としてもお使いください。

低真空電界放射型走査電子顕微鏡(FE-SEM)が産業技術センターに入りました

東京高専の産業技術センターに低真空電界放射型走査電子顕微鏡が入りました。従来の高真空のSEMと異なり、10~4000Paの低真空測定が可能であり生物観察も出来ます。加熱ステージ利用で1500℃まで温度制御が可能であり、分解能は、高真空(高加速)で1.2nm(30kV)、低真空(低加速)で3.0nm(3kV)です。さらに、動画撮影や元素分析も可能です。どうぞご活用下さい。担当は技術職員の向川さんです。



低真空電界放射型走査電子顕微鏡

事務局より

今後も会員の皆様からのご要望を受けて、様々な活動を行っていく予定ですので、是非ご意見をお寄せ下さい。mitani@tokyo-ct.ac.jp